

中部山岳森林計画区

第五次国有林野施業実施計画書

計画期間 自 平成28年 4月 1日
至 平成33年 3月31日

林野庁中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとにたてる5年間の計画である。

この本計画の計画期間は平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5年間である。

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養 ^{かん} タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	4
(6)	保育総量	4
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	6
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	7
(1)	保護林の名称及び区域	7
(2)	緑の回廊の名称及び区域	11
6	レクリエーションの森の名称及び区域	12
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域等	19
8	その他必要な事項	
(1)	施業指標林、試験地等	20
(2)	フィールドの提供	21
(3)	森林共同施業団地	21

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量
並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

施業型	施業群	面積 (ha)	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
単層型 (短期)	小面積分散伐区	1,200.08	育成単層林施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となることで、林齢、林相が異なる多様な森林。	スギ 60 ヒノキ 75 カラマツ 60 アカマツ 75
	(長期) 長伐期	2,809.49	育成単層林施業	主伐を標準伐期齢のおおむね2倍以上の林齢において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林。	スギ 120 ヒノキ 150 カラマツ 100
複層型	人工林複層伐	686.11	育成複層林施業	人工林において、複層伐により部分的に伐採し、人為により複層林化を図った複数の樹冠層を構成(階層構造)する森林。	スギ 120 [60] ヒノキ 150 [75] カラマツ 100 [60]

施業型	施業群	面積 (ha)	施業の方法等		伐期齡 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
漸伐 複層型	天然林漸伐複層型	245.91	育成複層林施業	天然林において、漸伐により部分的に伐採し、人為的あるいは天然力により複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	N 200 L 180
択伐 複層型	人工林択伐複層型	1,148.19	育成複層林施業	人工林又は天然林において、択伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力により複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	N 95 (35)
	天然林択伐複層型	1,510.48	天然生林施業		N 200 (35) L 180 (25)
その他		10.33	試験地等の設定目的による。		
合計		7,610.59			

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 []は複層伐における初回伐採の伐期齡、()は回帰年である。

(3) 水源涵養^{かん}タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位 : ha)

施業群	上限伐採面積
小面積分散伐区	80.00
長伐期	93.65
人工林複層伐	55.80
漸伐複層型	6.15
択伐複層型	379.80

(注) 1 上限伐採面積は、計画期間（5年）分の面積である。

2 契約に基づいて主伐を実施する分収林が含まれる場合は、上限伐採面積を超えて定めることができる。

(4) 伐採総量

(単位：m³, ha)

区 分		林 地					林 地 外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	小 計		
山 地 災 害 防 止 タ イ プ	土砂流出崩壊防備	(4.72) 960	(1,109.47) 74,033	74,993				
	気 象 害 防 備		(25.73) 2,839	2,839				
	小 計	(4.72) 960	(1,135.20) 76,872	77,832				
自 然 維 持 タ イ プ								
森 林 空 間 利 用 タ イ プ			(160.38) 13,065	13,065				
快 適 環 境 形 成 タ イ プ								
水 源 か ん 涵 タ イ プ	小面積分散伐区	(82.17) 24,256	(199.15) 17,362	41,618				
	長 伐 期	(5.00) 1,776	(1,188.31) 98,353	100,129				
	人 工 林 複 層 伐	(10.35) 1,607	(222.21) 19,963	21,570				
	人 工 林 択 伐 複 層 型		(317.56) 30,254	30,254				
	天 然 林 漸 伐 複 層 型		(1.44) 69	69				
	そ の 他		(0.35) 20	20				
	小 計	(97.52) 27,639	(1,929.02) 166,021	193,660				
合 計		(102.24) 28,599	(3,224.60) 255,958	284,557	30,443	315,000	315,000	
年 平 均		5,720	(644.92) 51,192	56,911	6,089	63,000	63,000	

(注) () 書きは伐採面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位 : m³)

市町村名	林 地					林地以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
松本市	10,782	170,007	180,789				
大町市	960	2,328	3,288				
塩尻市	14,804	69,457	84,261				
安曇野市	2,053	6,552	8,605				
松川村		2,496	2,496				
白馬村		2,707	2,707				
小谷村		2,411	2,411				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位 : ha)

区 分		山地災害 防止タイプ [°]	自然維持 タイプ [°]	森林空間 利用タイプ [°]	快適環境 形成タイプ [°]	水源涵養 タイプ ^{かん} タイプ [°]	合計
人工造林	単層林造成					61.82	61.82
	複層林造成	0.67				8.77	9.44
	計	0.67				70.59	71.26
天然更新	天然下種第1類						
	天然下種第2類						
	計						
合計		0.67				70.59	71.26

(6) 保育総量

(単位 : ha)

区 分		山地災害 防止タイプ [°]	自然維持 タイプ [°]	森林空間 利用タイプ [°]	快適環境 形成タイプ [°]	水源涵養 タイプ ^{かん} タイプ [°]	合計
保 育	下刈	2.22				351.25	353.47
	つる切						
	除伐	135.30				246.56	381.86

3 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・その他別	開設・改良別	路線名	対象林班・箇所数	延長	備考	
基幹	開設	鹿島川	501	1箇所	500	
		計		1箇所	500	
	改良	島々谷	10, 11	2箇所	60	
		島々谷併用	2	1箇所	30	
		湯川	137~139	1箇所	50	
		池の沢前川（前川）	145~149	2箇所	50	
		大白川	156~162, 178	3箇所	90	
		奈川黒川（黒川）	305~308, 313, 318~320	2箇所	40	
		奈川黒川（赤田沢）併用	348, 354, 358~363	2箇所	40	
		奈川黒川（奈川）	364~399	4箇所	320	
		鹿島川	501, 502	1箇所	30	
		鹿島川（大ゴ沢）	504	1箇所	30	
		中ノ沢併用	576	2箇所	80	
		乳川馬羅尾（乳川）併用	587	2箇所	100	
		乳川馬羅尾（馬羅尾）	603~606	2箇所	60	
		横川併用	623, 624	3箇所	90	
		白馬	1515~1517, 1522~1524, 1537~1541	2箇所	60	
		奈良井	1573~1580	2箇所	60	
		坊主（桑崎）	1558	2箇所	60	
		坊主（羽淵）	1589~1603	2箇所	40	
贄川橋戸（贄川）	1607~1618	2箇所	60			
贄川橋戸（橋戸）		5箇所	200			
	計		43箇所	1,550		
その他	開設	黒沢	318~320	1箇所	1,078	
		奈良井支線	1508~1511, 1515	1箇所	2,500	
		計		2箇所	3,578	
	改良	五六沢	156~160	2箇所	40	
		黒沢支線	234, 235	2箇所	30	
		金松寺	236	1箇所	30	
		水沢山	237, 238	2箇所	40	
		河鹿沢	242~244	2箇所	40	
		蝶ヶ原併用	252	1箇所	20	
		黒川支線	321~333	2箇所	40	
		コウ口沢	388~393	2箇所	40	
		境峠	400~401, 403	2箇所	40	
		大川	507, 510, 511	1箇所	20	
		羽淵	1502, 1503	4箇所	200	
		黒川	1525, 1526, 1533, 1541	2箇所	60	
		白川（奈良井）	1542~1552	2箇所	40	
		入細沢	1582	2箇所	40	
		贄川支線	1598	2箇所	60	
福沢	1605, 1606	3箇所	90			
	計		32箇所	830		
合計	開設		3箇所	4,078		
	改良		75箇所	2,380		

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

4 治山に関する事項

(単位：保全施設 箇所，保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計 画 量
横川，大川沢，扇沢，白沢(大町市)，不動沢 白川上流，橋戸沢，白沢(松本市)，六百，焼岳 前川，湯川，黒川下流，大寄合沢	保 全 施 設	溪 間 工	14
北股，浦河，横川，奈良井坊主岳，霞沢，坂巻 黒川下流	保 全 施 設	山 腹 工	7
中部山岳計画区管内の保安林区域内	保 安 林 の 整 備	保安林 改 良	359.72
計	保 全 施 設	溪 間 工	14
		山 腹 工	7
	保 安 林 の 整 備	保安林 改 良	359.72

- (注) 1 保全施設の計画量「箇所数」は「単位流域」数を表す。
 2 位置は単位流域を表す。
 3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

ア 森林生態系保護地域

名 称	新・既別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
北アルプス金木戸川・高瀬川源流部	既設	保 存 地 区 1,598.47	549ろ・ロ 589は・イ・ハ・ニ	日本海型から太平洋型気候の推移帯である本州中部に位置し、また、標高が1,300m~3,200mの範囲に及び北アルプス(飛騨山脈)を代表する原生的で多様な天然林が存在している。 自然環境の維持、動植物の保存、新しい時代における森林に関する技術の発展、学術研究に資するための森林の生態系を保護する。	保存地区の森林は、原則として人手を加えず自然の推移に委ねる。 保全利用地区の森林については、木材生産を目的とする森林施業は行わない。 細部については、「北アルプス金木戸川・高瀬川源流部森林生態系保護地域計画」及び、「ライチヨウの保護管理については、「ライチヨウ希少野生動植物種保護管理事業実施方針書」により実施する。
		保 全 利 用 地 区 2,048.59	549い・に・ほ・イ 588ハ・ニ・ヘ・ト 589いろ・ロ・ホ		
面積計		3,647.06			

イ 林木遺伝資源保存林

名 称	新・既別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
風 吹 ス ギ	既設	11.26	632い2・ち	我が国有数の豪雪地帯に生育するスギ天然林は希少であり、その遺伝資源を保存する。	原則として伐採は行わない。 ただし、保存対象樹種の安定的かつ恒久的な存続を図るために必要な場合は、枯損木及び被害木の除去を中心とした弱度の択伐を行う。
鹿島ヒノキ等	既設	10.94	502ら2・む・う	我が国のヒノキ分布の北限部の一つである希少天然林であり、その遺伝資源を保存する。	
湯俣キタゴヨウマツ・カラマツ等	既設	63.76	547ほ~と・る・わ	カラマツ等と混生するキタゴヨウマツの大面積群落であり、その遺伝資源を保存する。	
上高地ケシヨウヤナギ等	既設	8.43	86に	昭和3年に我が国で最初に発見され、分布が限られている希少樹種のケシヨウヤナギ等の遺伝資源を保存する。	
面積計		94.39			

ウ 植物群落保護林

名 称	新・既別	面 積 (ha)	特 徴 等	施 業 等
雨飾・天狗原山	既設	1,565.06	豪雪地帯における典型的な日本海型のブナ植物群落を保護する。	原則として、人手を加えずに自然の推移に委ねた保護管理を行う。
白馬岳高山	既設	1,281.19	我が国でも有数の高山植物の豊富な地域で、国の特別天然記念物となっている高山植物群落を保護する。	
白沢天狗山	既設	606.65	当地域の代表的な亜高山帯植生の植物群落を保護する。	
梓川・霞沢	既設	1,522.43	上高地に至る梓川渓谷一帯の亜高山性の天然林及び霞沢山一帯の豊かな高山植物等の原生的な植生を保護する。	
大天井岳	既設	1,782.69	コメツガ、シラベ、ダケカンバ等の亜高山帯からハイマツ等高山帯に至る原生的な植生を保護する。	

名 称	新・既別	面 積 (ha)	特 徴 等	施 業 等
鷲羽岳等高山	既設	1,844.97	鷲羽岳の南、東斜面及び真砂岳の南斜面に位置し、亜高山帯に至る高山草原、低木群落等の原生的な植生を保護する。	原則として、人手を加えずに自然の推移に委ねた保護管理を行う。
梓 湖	既設	302.25	この地域を代表するミズナラ、カンバ等の天然性広葉樹林の植物群落を保護する。	
上高地のツツジ	既設	42.47	上高地周辺の限られた地域にのみ分布する希少なケショウヤナギ群落、及びケショウヤナギの更新可能な氾濫原となる砂礫地を保護する。	
面積計		8,947.71		

エ 特定地理等保護林

名 称	新・既別	面 積 (ha)	特 徴 等	施 業 等
針ノ木・爺ヶ岳	既設	1,293.61	アルプス特有の典型的な特色のある山岳景観を成しており、特に針ノ木大雪渓は著名である。	地形・地質等の特性を踏まえ、原則として森林施業は行わない。 なお、保安施設事業の実施に当たっては、自然景観に配慮した工種・工法を採用し適切に行う。
高瀬渓谷噴湯丘	既設	39.47	国の天然記念物に指定されている「高瀬渓谷の噴湯丘と球状石灰岩」の一角を保護する。	
焼 岳	既設	1,049.81	北アルプス唯一の活火山であり、また、噴出溶岩等特異な山容を示す焼岳一角を保護する。	
乗鞍三本滝	既設	25.19	大小の異なる三本の滝が一箇所に流れ落ち、特異な景観である事から滝とその周辺の天然林を保護する。	
槍ヶ岳・穂高	既設	3,154.89	我が国有数の涸沢カールの他特徴的な稜線・滝等に植生豊かな自然環境は、中部山岳国立公園の核となるばかりではなく、世界的にも日本を代表する山岳景勝地であるこの一角を保護する。	
硫 黄 岳	既設	597.73	硫黄岳・赤岳を結ぶ硫黄尾根の北斜面は硫黄噴出の影響等により全山に渡ってほとんど植生がない状態である。この特異な地理を保護する。	

名 称	新・既別	面 積 (ha)	特 徴 等	施 業 等
五竜・鹿島槍ヶ岳	既設	1,317.22	断崖、岩壁容姿の五竜岳から南北の双峰を持つ鹿島槍ヶ岳一帯は地域のシンボルとして親しまれており、高山帯の原生的な植生と相まったアルプス特有の特異な地形・地理を保護する。	地形・地質等の特性を踏まえ、原則として森林施業は行わない。 なお、保安施設事業の実施に当たっては、自然景観に配慮した工種・工法を採用し適切に行う。
常念・蝶ヶ岳	既設	2,223.57	松本・安曇平から北アルプス眺望のシンボルとして親しまれ二重山稜、亜高山帯から高山帯に至る原生的な植生と調和したアルプス特有の地形地理を保護する。	
乗 鞍 岳	既設	1,605.84	乗鞍岳山頂部に広がる火山群カルデラ（湖沼）等の特徴ある地形・地質と、亜高山帯から高山帯に分布する植生等により構成される生態系、景観等を保護する。 すでに乗鞍道路、集団施設地区等の整備が行われている地域である。	
面積計		11,307.33		

オ 郷土の森

名 称	新・既別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
安曇野まつかわ馬羅尾高原	既設	7.28	587は	サワラの巨木が生育する天然林を郷土の象徴として保護する。	自然の推移に委ねる管理又は現状の維持に必要な森林施業を行うことを基本とし、具体的にはそれぞれの保護・管理・利用計画書により行うものとする。
面積計		7.28			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

名 称	新・既別	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	
緑の回廊 雨飾・戸隠	既設	10.4	1,983.75	609林班 610いろ 611い～は・ほ 612い～ほ・と 613林班 614林班 615林班 616林班	<p>緑の回廊設定区域は、雨飾・天狗原山植物群落保護林から千曲川下流計画区にまたがり、野生動物の日常行動や季節移動等の経路をつくることにより、分断された個体の交流を促す等、森林生態系の構成者である野生動植物の多様性の保全を図ることを目的とする。</p> <p>林況は、ブナを主とする広葉樹天然林が大半を占めている。</p> <p>施業については「緑の回廊雨飾・戸隠設定方針」による。</p>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>中部山岳 : 1,983.75 千曲川下流 : 1,803.34 計 3,792.09</p> </div>				

6 レクリエーションの森の名称及び区域

(1) 自然観察教育林

名称	新・既別	面積 (ha)	位置 (林小班)	選理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
扇 沢	既設	22.10	524と・るよ 525ろ・は・る・か・つ・な ----- 524ロ・ニ・ト・チ・タ ~ネ 525ト	立山・黒部アルペンルートの長野県側の玄関口にある。隣接地には動植物園・キャンプ場等の施設があり多くの利用者が集まることなどから自然観察教育の場として適している。	天然生林施業 ----- 林地以外	・トロリー施設 (民間) ・歩道 (大町市)		
上 高 地	既設	608.77	82ハ・83ろ・ほ・と ~る 84ろ~り 85ろ~ち 86い 88ろ 100ろ 111ろは 112ろ 113ろ 114ろは 115はにへ 116ろ 117は 118は ----- 82ハ・ニ・ホ 83イ・ハ~チ 84イ・ロ・ニ~リ 85イ 86イ・ハ 89イ 100ニ 106イ 107ハ・リ・ ヌ 111イ・ハ~ホ 112イ 113イ 114ロ 115イ 118ニ~ハ	大正池をはじめとして、湖と湿原を有する平準な梓川一帯は、北アルプスの山岳景観を背景に動植物が豊かに生息しているなど自然観察教育の場として適している。	天然生林施業 ----- 林地以外	・歩道 (長野県・環境省) ・山小屋・旅館 (民間) ・野営場 (民間)		
面積計		630.87						

(2) 野外スポーツ地域

名称	新・既別	面積 (ha)	位置 (林小班)	選理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
岩 岳	既設	160.23	628な 629へり・ぬる1～る3よ～れむ・おく・や・やま ----- 628ら 629ほわか～かか・うの ----- 629ハ	昭和57年度設定の野外スポーツ地域で隣接の岩岳スキー場と一体となり、多くの利用者がある。豊富な積雪と地形等から隣接スキー場と一体となり、周辺森林とともに三季型の利用が見込まれる。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ 歩道 (白馬村・第三セクター) ・ 園地 (第三セクター) ・ スキー場 (第三セクター)		
乗 鞍	既設	195.67	144そつ ----- 142い 144い～はるわ～よねな ----- 142イ 144ハ～ホチ	昭和45年に設定されたスキー場で、豊富な粉雪でダイナミックなスキー場として親しまれ、隣接地の観光施設と一体的に四季を通じて多くの利用者があり、野外スポーツの場として適している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ スキー場 (民間) ・ 歩道 (長野県)		
奈 川	既設	50.84	402に 403へ 405ろ～ち 406ろ ----- 405イ・ロ	木曾路原高原休養開発計画の一環として整備されたスキー場で、緩急に富んだ地形や良好な雪質から初心者から上級者まで利用でき野外スポーツの場として適している。	天然生林施業 ----- 林地以外	・ スキー場 (松本市)		
面積計		406.74						

(3) 風景林

名称	新・既別	面積 (ha)	位置 (林小班)	選理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
天狗原	既設	239.39	635ろ〜に ----- 635ロハ	白馬乗鞍岳登山道 周辺の高山帯と森林 と高層湿原は、池塘 群や豊かな高層湿原 で構成され、美しい 自然景観と色調の高 い森林美を有してい る。	天然生林施業 ----- 林地以外			
沢 渡	既設	306.92	78いほとちぬ 128いに ----- 78ろ〜にハリ 128ろはハそつ ----- 78イ〜ハ 128イホ〜ト	山岳景勝地、上高 地への玄関口となる 沢渡地区を取り巻く 森林で、駐車場施設 等と一体となり、入 り込み客に潤いを与 える風致景観を構成 している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外			
浅間・ 湯の原	既設	44.82	251-I い〜ハ 251-II い〜ト 251-III い〜ヨ ----- 251-I イ 251-III イ〜ハ	浅間温泉及び美ヶ 原温泉の後背林で主 としてアカマツで構 成されている。北ア ルプスをはじめ松本 平等の眺望も良く市 民等の散策の場とし て利用されている。 平成14年度には、 本郷小学校と「遊々 の森」協定を締結 し、児童達に利用さ れている。	天然生林施業 ----- 林地以外	・園地 (松本市)		
若沢寺跡	既設	7.82	237ろハチ	松本市の史跡であ る若沢寺跡を囲むス ギ等の人工林で構成 され、周辺の森林と 歴史的風致を構成し ている。	育成複層林施業	・歩道 (松本市) ・市史跡 (松本市)		

名称	新・既別	面積 (ha)	位置 (林小班)	選理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
中房溪谷	既設	294.20	203わ 204ろと ~るよつねむののお 205ろ~に 208は 211に ----- 203ら 204いは にへかた~そらう く 205いほ 208いろに 209と 210にへ ち 211いほはほた 212へと 213ろ 215むう ----- 204口 205口ハ 208へチ 215イ	県道槍ヶ岳・矢村線沿線から中房温泉の背景林のカラマツを主とする人工林及び、ミズナラ等を主とする天然林で構成され、四季折々訪れる多くの湯治客や登山者等を魅了する美しい自然景観と色調の森林美を構成している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・旅館 (安曇野市)		
権兵衛峠	既設	80.72	1553ろ 1554ろ ----- 1553いほ 1554いほ~ほ	伊那谷と木曾谷を結ぶ国道361号線権兵衛峠一帯は、サワラ、コメツガ、ミズナラ等が混交する天然林で、歴史のある峠一帯の優れた景観を構成し、峠を訪れる多くの利用者に親しまれている。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業			
ビーナスライン	既設	28.78	247わ~たその 248ほへ ----- 248にり ----- 247イ~ハ	多くの利用者がああるビーナスラインや、県道及び信濃路自然歩道沿いのカラマツ、ダケカンバや下層のレンゲツツジ等色調の変化のある山稜的な森林は優れた風致景観を構成している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・歩道 (長野県)		

名称	新・既別	面積 (ha)	位置 (林小班)	選理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
乗鞍岳	既設	420.67	143にと 144ちり ----- 136イ 137イ 143イ~ホ 144イ・ロ・ハト 145イ	乗鞍岳の雄大な地形と亜高山帯植生から高山帯植生と地形の変化・風雪に耐えた巨樹と枯損木の調和等優れた景観を構成している。	天然生林施業 ----- 林地以外	・ 歩道 (長野県・松本市) ・ 園地 (岐阜県) ・ 山小屋 (民間)		
奈川渡	既設	705.79	64い~ほ 65い~に 66い 67い~は 68いり 69いろ ----- 64イ~チ 65イ 66イ 67イ 68イ 69イ	国道158号線奈川渡ダム周辺の森林で、コメツガ、ミズナラ等の天然林で構成され、四季を通じた色調の変化等緑と水が調和し、山岳ダム湖の風致景観を構成している。	天然生林施業 ----- 林地以外			
白骨温泉	既設	141.09	140へと ----- 131い 132い~ほ 140い~ほ	白骨温泉の背景林で、人工林はカラマツを主とし、天然林はコメツガ、トウヒミズナラ、カンバ等の高齢級の林分で構成されている。 古くから白濁した温泉で著名な白骨温泉と一体的に利用されている。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業	・ 歩道 (長野県・松本市)		
梓・安房峠	既設	422.11	126は 127は 128ほと~ぬ 129いはに ----- 82と 120ろ 122に~ほ 123い 124は~ほ 125は 126と~ぬ 127 へと 128ろわ	国道158号線安房峠周辺の森林はブナ帯から亜高山性樹種へと植生が変化し風雪に耐えた巨樹が優れた風致景観を構成している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業	・ 旅館・売店 (民間)		

名称	新・既別	面積 (ha)	位置 (林小班)	選理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
			129ほ・へる ----- 82イ 120ニ 122イ～ハ 123 イ・ロ 124イ～チ 125イ 128ロ・ハ		林地以外			
面積計		2,692.31						

(4) 風致探勝林

名称	新・既別	面積 (ha)	位置 (林小班)	選理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
木曽路原	既設	11.31	401ほ・れつ 404と ----- 404い	県道奈川木祖線境峠周辺の檜原高原一帯は、木曽路原と呼ばれ、高原内にある施設「フォレストフィールド奈川」と一体化した自然探勝、憩いの場として適している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業	・ 歩道 (松本市)		
美ヶ原	既設	546.00	245い～に・へ・と・ぬ る・わ～よ 246いろにほ 245ほ・とり ----- 245ほ・ちり 246ほ・へ 252い～に・へ・ち・ぬ ----- 245イ～レ 246イ～ヨ 252イ～ホ	八ヶ岳中信高原国定公園の一角を占める美ヶ原一帯は、高原台地の牧場と一体となった矮性化したカラマツ人工林と草原、富士山を始め南北・中央アルプスの山々の眺望等が優れ自然探勝の場として適している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ 歩道 (長野県・松本市) ・ 旅館 (民間) ・ 園地 (松本市) ・ 建物 (長野県)		
風吹・大池	既設	115.98	630にそ 636ほ・ちぬ ----- 630イ・ロ	亜高山性樹種のアオモリトドマツを主体とした天然林に囲まれた神秘的な風吹大池があり、ファミリー登山者をはじめ多くの利用者があり風致探勝の場として適している。	天然生林施業 ----- 林地以外	・ 歩道 (小谷村) ・ 野営場 (小谷村) ・ 園地 (小谷村) ・ 山小屋 (小谷村)		

名称	新・既別	面積 (ha)	位置 (林小班)	選理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
柵池湿原	既設	364.09	627よそ 628れいね ----- 627ロ	アオモリトドマツトウヒ、ブナ等が散在する樹林と高層湿原の池塘群は、隣接する柵池高原と一体となり雄大な白馬連峰の眺望と相まった高原景観を形成し、優れた自然探勝の場を構成している。	天然生林施業 ----- 林地以外	・ 歩道 (小谷村)		
野麦峠	既設	93.28	338いへは 340へぬるたそ 341いへるわよ 342いへほとる ----- 340わよれつ 341ほぬ 342にへ ----- 338イ 340イロ 341イ 342イ	旧野麦街道沿線及び野麦峠一帯は、サワラ、ウラジロモミ等の老壮齢天然林及びカラマツ人工林で構成され、峠や旧街道と一体となった自然景観を構成しており自然探勝、憩いの場として利用されている。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ 園地 (松本市) ・ 歩道 (松本市)		
面積計		1,130.66						

(参考) レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法等

対象団地	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業 方法	既存施設の 概要	施設 整備	備考
白馬	148.38	623にちぬ 624いろへちるかた つなゆ 625い	育成複層林施業			
		623へ 624はにわねむひん 625ろへちる	天然生林施業			
		623口 624ハ	林地以外			
八伏峰	67.01	249れそ	育成複層林施業			
		249りよ	天然生林施業			
		249イハ 250イホ	林地以外			
面積計	215.39					

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域等
該当なし。

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林・試験地等

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
施業指標林	河鹿沢天然林	S58年度	4.21	244や	天然林施業体系の確立
	雨飾山天然林	S59年度	1.90	604わ	天然林施業体系の確立
試験地	カラマツ間伐	S44年度	0.99	247お~ま	
	カラマツ間伐	S44年度	1.35	319は	
	白川カラマツ人工林収穫	S37年度	1.23	1546は	
次代検定林	関長-6 (一般)	S45年度	1.02	242た	アカマツ
	関長-6 (一般)	S45年度	2.13	242れ	アカマツ
	関長-24 (一般)	S53年度	0.35	236ま	スギ
	関長-34 (一般)	S61年度	0.76	582よ	ヒノキ
	関長-35 (一般)	S63年度	0.33	403と	ウラジロモミ
	関長-36 (一般)	S63年度	0.49	403ち	チョウセンゴヨウマツ
遺伝子保存林	長遺-20号	S52年度	3.26	215へ	
精英樹 保護林	松本101・102号	S32年度	0.05	85は	カラマツ
	藪原101号	S43年度	0.83	348へ	ウラジロモミ
	藪原102・103号	S43年度	0.50	348と	ウラジロモミ
	藪原104・105号	S43年度	1.13	387に	ウラジロモミ
	奈良井1号・2号	S41年度	1.49	1605り	スギ
特別母樹林	特45-4	S45年度	1.31	204は	カラマツ
	特45-5	S45年度	1.68	85ろ	カラマツ
巨樹・巨木	カラマツ (奈良井のジャンボカラマツ)	H12年度		1554林班内 (巨樹・巨木が存する林分)	通達「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推進について」により選定
森林施業モデル林	育成複層林施業(針広混交林化)	H11年度	3.88	244せ	山地災害防止タイプ

種類	名称 (設定河川等)	設定年	延長 (m)	位置 (林小班)	備考
溪畔保全プロジェクト林	ミソ川	H27年度	1,589	148と・ち・ね・な 149ね・は・に・なら	

(2) フィールドの提供

ア 遊々の森

名 称	面積 (ha)	位 置 (林小班)	設 定 の 目 的 等
どすこい山 (平成15年度設定)	9.75	251-Iい~ハ	協定相手方: 松本市立本郷小学校 協定期間: 平成32年度末まで (平成27年度末更新) 目 的: 国有林野を林業体験、自然観察等の多様な体験活動の場として活用を図る。
計	9.75		

(3) 共同施業団地

名 称	対 象 地 (林小班)		面積 (ha)	連携した施業の内容	備 考
高瀬川流域地域	民	10~19林班 35~40林班 50林班 88林班	762	森林整備・路網整備 の連携	
	国	501・502林班 520~524林班	519		
計			1,281		

名 称	対 象 地 (林小班)		面積 (ha)	連携した施業の内容	備 考
寄合渡団地 (松本奈川地区)	民	2018~2020班班 2060・2061林班	238	森林整備・路網整備 の連携	
	国	385~399林班	594		
計			832		